

平成27年研究成果発表会について

企業支援部 普及調整グループ 近藤佳秀

平成27年4月16日（木）に平成27年北海道森づくり研究成果発表会（木材利用部門）を旭川市大雪クリスタルホール大会議室（口頭発表）及びレセプション室（展示発表）において開催しました。

今年は、森林研究本部としての一体感をアピールすることを念頭に置いて、林業試験場からの発表も盛り込んだ内容としました。前日15日（水）に行われた森林整備部門の発表でも林産試験場の発表を行っています（口頭2件、展示6件）。

口頭発表では、北海道の総合振興局、振興局森林室、民間企業から3件、林業試験場から1件、林産試験場から6件の計10課題について研究成果等の発表が行われました。終日多くの参加者に発表を聴いていただき、各発表に対する質問や意見も多く出され、関心の高さがうかがわれました。

展示発表では、林産試験場から14件、林業試験場から4件、北海道の総合振興局森林室から1件の計19件のポスターや試作品、製品などの展示が行われました。口頭発表者もポスター展示を行い、午前と午後を設定したコアタイム（説明時間）を中心に、参加者との活発な意見交換が行われ、今年も大変盛況のうち終了しました。

さらに、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による写真展として「活躍する森林所有者の紹介」や林業普及指導員による日頃の普及指導活動を紹介する「第30回林業普及写真展」が開催されました。

そのほかに技術相談コーナーを設け、林産試験場の研究員が技術相談を受けるスペースとして利用していただきました。

参加人数は289名、そのうちの108名が企業・団体からの参加者で、林産業全体にわたる当場の技術支援に対する期待と関心が業界の方々から寄せられているものと捉え、さらなる業界への貢献を図っていく必要性を感じたところです。

本誌では当日の発表内容を3回に分け特集します。函館空港に設置された「Hako Dake Hiroba」に関する道南地域の地域材利用拡大の取り組みや、戦略研究で取り組んだ新しい乾燥技術コアドライの紹介、新しい木質材料として注目されているCLT（クロスラミネイティッドティンバー）に関する報告など、新

しい木材利用に関連する、それぞれの成果についてご一読いただき、参考にいただければ幸いです。



口頭発表の様子



参加者からの質問（口頭発表会場）



展示発表の様子



「Hako Dake Hiroba」に関する紹介展示